

平成30年度第2回 富岡甘楽地域保健医療対策協議会
地域医療構想部会

次 第

日 時 平成31年 1月31日 (木)
午後7時00分から午後8時30分
場 所 富岡合同庁舎 1階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 地域医療の現状、地域医療構想に関する情報交換

(2) 地域医療構想の推進に関する行政説明

(3) その他

4 閉 会

平成30年度 第2回 富岡甘楽地域保健医療対策協議会
地域医療構想部会 出席者名簿

平成31年 1月31日(木) 午後7時～

富岡合同庁舎 1階 大会議室

	職	氏名	所属団体等	
1	委員	大竹雄二	富岡市甘楽郡医師会長	
2	委員	佐藤尚文	公立富岡総合病院長	
3	委員	堀越勤	下仁田厚生病院長	
4	委員	竹原健	公立七日市病院長	
5	委員	武田滋利	西毛病院代表(医療法人大和会 理事長)	

平成30年度第2回富岡甘楽地域保健医療対策協議会

地域医療構想部会 議事概要

- 日時：平成31年1月31日（木）
午後7時00分から8時30分まで
- 場所：富岡合同庁舎 大会議室

議題（1）地域医療の現状、地域医療構想に関する情報交換

○富岡甘楽地域の各医療機関から現状について説明後、意見交換を実施。

○現状説明の概要は次のとおり。

- ・地域住民（患者）の高齢化により提供する医療の内容が変わってきた。これからは、高齢者を社会復帰させるための医療を提供することが大切。
- ・入院患者、外来患者ともに減少傾向。また、国の政策を受けて、平均入院日数も減少傾向。
- ・地域包括ケア病棟を導入。今後は医療需要の変化に対応しながら、ゆっくり病院規模を縮小していく予定である。
- ・病院の在り方検討委員会を開催。同検討委員会から短期的展望、長期的展望、病院の基本姿勢等を取りまとめた答申を受けた。
- ・他の医療機関と連携し、地域医療に取り組んでいる。
- ・介護施設等への入所者を対象にした訪問診療に力を入れている。
- ・外来・入院患者は減少傾向であることから、来年度、ダウンサイズ等を検討し、人員の適正配置を行いたい。
- ・今まで高齢化によって認知症患者が増えてきたが、今後は、高齢者人口も減少するため、急性期医療の提供から在宅復帰の支援まで幅広く対応する方針。
- ・介護医療院は、終の棲家とは考えておらず、あくまでも在宅復帰を目指す。

○意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）富岡甘楽地域は、2025年問題は過ぎ、既に高齢者だけになっている。
医療より介護が必要だと考える。

（委員）人口減少が進む中で、引き続き手厚いサービスを提供していくことは難しい。

（委員）介護施設等へ訪問診療する場合、対象者が多いために開業医だけでは対応できない。そのため、病院（の訪問診療チーム）が介護施設等へ訪問診療することは、開業医が個人宅へ訪問診療することと棲み分けができており、開業医としてはありがたい取組と考える。

（委員）病院としては、開業医の役割を補完したい。病院へ通えず、家にも居られない方は、介護施設等が集まってくる。介護施設等に対する医療が必要だと思う。

議題（２）地域医療構想の推進に関する行政説明

○資料１～資料６－２に基づき事務局から説明。

○意見、質疑等はなし。

議題（３）その他

○意見、質疑等はなし。

以上